甲第9号証

老後の安心を支えます!!
ホームヘルプセンター
なごみの里
お問い合わせ☎86-8311

視野は世界　視点は郷土
ニュース・話題▶編集部 ☎0980(82)2122　FAX.0980(83)0675
広告の申し込み▶営業部 ☎0980(82)2121　FAX.0980(82)1150
総務部▶☎0980(82)0936　那覇支局▶☎098(868)1105(FAX兼)
制作部▶☎0980(82)9952　http://www.y-mainichi.co.jp/
●購読申し込み・配達の問い合わせ ☎0980(83)6155(6:00~19:00)　●月極購読料:1,750円(税込)

八重山毎日新聞
Yaeyama Mainichi

2016(平成28)年 10月9日(日曜日)

発行所 株式会社八重山毎日新聞 〒907-0004 沖縄県石垣市字登野城514

条例なしで実施可能

自治基本条例の住民投票 市が解釈を明示

石垣市自治基本条例第28条で定める住民投票は、条例を制定しなくても実施できることが分かった。同基本条例は有権者の4分の1以上の連署で住民投票の実施を請求でき、市長は「所定の手続きを経て実施しなければならない」と規定。この所定の手続きについては条文で明確な規定がないが、市は8日までの八重山毎日新聞の取材に対し、「議会の議決を必要とする条例の制定は含まれていないとの解釈を示し、「その数の署名が集まれば、市議会に諮ることなく、必ず住民投票を実施するというものだ」と説明した。住民投票実施に必要な連署人数は9595人以上。

市によると、所定の手続きは、住民投票を実施する上で必要となる「署名簿の審査▽選挙管理委員会への事務委託▽住民投票の形式確認▽投票用紙の記載方法▽投票日の設定」など。条例は不用としている。

住民投票については、地方自治法74条で有権者の50分の1以上の署名で条例の制定請求ができると規定。これに対し、自治基本条例は署名数について有権者の4分の1以上という高いハードルを設けることで、住民投票そのものの実施を調整できるようにしている。

市は「住民投票は市の将来を左右するような重大な事項に関して、市民が自らの意思を直接表明する権利を保障するものだ」との権利解釈を示した自治基本条例第28条に基づく住民投票について、住民投票を担保するための会の上原均事務局長は「『民主主義の考えが盛り込まれており、市の将来を決める重大な事項について市民が意思を表明する機会が担保されている』と評価する。

同条4項で規定する住民投票を実施する際の「所定の手続き」をめぐっては、住民の会は「議決を必要とする住民投票条例の制定を入っているとの認識があり、たとえ署名を集めて請求しても投票数の議会で否決されて実施できないとの懸念があったが、市が今回示した解釈で払拭された格好。

上原事務局長は「住民投票は最後のカードになると思うが、有権者の4分の1という署名数はハードルが高い。住民投票の実施を求める場合は署名集めの手段、方法など用意周到に計画を練らなければならないだろう」と話した。

住民の会「投票の機会を担保」 用意周到な計画も必要

石垣市自治基本条例第28条

第1項　市民のうち本市において選挙権を有する者は、市政に係る重要事項について、その総数の4分の1以上の者の連署をもって、その代表者から市長に対して住民投票の実施を請求することができる。

第4項　市長は、第1項の規定による請求があったときは、所定の手続きを経て、住民投票を実施しなければならない。

北部訓練場、年内返還を伝達

菅長官 翁長知事は歓迎

会談後、取材に応じる翁長雄志知事（写真左）と菅義偉官房長官＝8日午後、那覇市

菅義偉官房長官は8日夜、翁長雄志知事と那覇市内で会談した。日米両政府が部分返還で合意している米軍北部訓練場について、「年内に返還するよう」と求めた。今（米側と交渉している）と述べ、年内返還を目指す方針を伝えた。翁長氏は会談後、記者団に「県の方針として早めに返してほしいのと、大変歓迎しながら承った」と述べた。（2面に関連）

菅、翁長両氏の公式な会談は、辺野古移設に関する訴訟で、県の主張を退ける高裁判決が9月に出て以降、初めて。法廷闘争が続く辺野古移設問題については話題にならなかったという。

会談では知事側から沖縄振興予算の確保について要望があったことを明かし、「内閣として予算300億円台は確保することを約束しているし、しっかりと対応していきたい」と語った。

これに先だち菅氏は、訓練場を視察する東村の伊集盛久、国頭村の宮城久和両村長と名護市内で会談した。菅氏は席上、訓練場の部分返還について、「年内に実現できるように（関連）工事を着実に進め、米軍に対しても年内返還という形で交渉していきたい」と表明した。

菅氏は訓練場の返還に関し「引き続き住民生活や環境保護にしっかりと対応する」との考えを強調。地元が求めている返還跡地の国立公園への追加指定や世界自然遺産への登録について、協力する考えを示した。

会談後、菅氏は記者団に、東村などから財政支援の要望があったことを明かし、「ハリパッドが集中する（地区名）ので要請に応えたい」と前向きな考えを示した。

北部訓練場について、日米両政府は1996年に約半分の面積の返還で合意。ヘリコプター着陸帯（ハリパッド）の存続区域内への移設工事完了が返還の条件で、日本政府は工事を急ピッチで進めているが、米元任氏らは「騒音被害が拡大する」などと強く反対している。菅氏は同日、上空から作業状況を視察した。

中国公船が領海侵入

今年29回目・尖閣沖

尖閣諸島沖で8日、中国公船の領海に侵入し、約1時間半～2時間航行した。中国公船の領海侵入は9月24日以来で、今年29回目。

海警局の「海警」4隻が日本の領海に侵入し、約1時間半～2時間航行した。中国公船の領海侵入は9月24日以来で、今年29回目。

第11管区海上保安本部（那覇市）によると、海警局の北北西で領海に侵入。同日昼ごろ、魚釣島の西で領海を出た。

安本さんにパピルス賞

県内から初めて「島の手仕事」

県内から初めてパピルス賞に選ばれた「島の手仕事＝八重山の染織紀行＝」の著者、安本千夏さん（左）と、南山舎の上江洲儀正社長＝7日ごろ、大阪信濃橋記念館

学問と社会を結びつけることに貢献した著作に贈られる「パピルス賞（公益財団法人関記念財団主催）」に、安本千夏さん（51）＝石垣市大浜＝の「島の手仕事＝八重山の染織紀行＝」（南山舎）が県内から初めて選ばれた。八重山の染織に関わりの深い人たちからの聞き書きを中心に染織文化をつづったもので、織物や染織道具、染料などの写真も交えながら、島々で暮らす人々の手仕事を紹介している。2015年の第3回で、16年に沖縄タイムス出版文化賞の正賞も受賞している。

同財団は選考理由について「忘れてしまいがちな島の文化の記録として、非常に貴重な『書籍』としている。

安本さんは「八重山の手仕事に人と人とが心を通わせ、和を愛する精神文化が宿っている。今回の受賞は八重山の皆さまの生きたに対する称賛と受け止め、これを励みに私自身もよりよい仕事をしていきたい」と受賞を喜んだ。

南山舎の上江洲儀正社長は「南の端っこの出版社が選ばれたのは大変うれしいこと。地域にこだわり、地域の仕事を一生懸命することは全国の普遍的なものとつながっていく。励みになる賞だ」。編集を担当し、写真家でもある大森一也さん（54）は「一緒に本づくりに携われる機会が得られて大変うれしい。大手出版社に並べて沖縄の本が評価されたことは大変ありがたい」と語った。

同賞は同財団の創設10周年を記念して08年から設置。毎年、大学以外で達成された学問的業績を対象に表彰している。紙パルプ産業の発展に貢献した故関博雄氏を偲び、命名された。

あすの新聞休みます

きょう9日は社休日となっています。よって10日付の新聞は休刊となります。ご了承ください。

八重山毎日新聞社

時の言葉

客貨混載

旅客事業の認可を受けた観光バスに荷物を載せ、宅配便の輸送サービスに利用することを、トラックの運転手不足に対応し、大量輸送できる鉄道やバス、船舶に転換するモーダルシフトの一環として、利用促進が求められている。

物流量が多い首都圏では、ヤマト運輸と佐川急便、日本郵便が、東京メトロや東京鉄道の両社に荷物輸送の実証実験に協力をお願いした。荷物輸送バスで中山間地域に運ぶサービスも始めており、過疎地のバス路線維持にも役立つと期待されている。

伸び過ぎた街路樹を巡っての本紙10月一日付のトップ記事▼それに土木事務所は「年に2回、国、県道の除草作業を実施している」ことしの1回目は梅雨明けに行った。要請があれば随時、除草や高木の剪定をしていては行っている。年々、道路維持管理の予算が減少していると相変わらずの回答▼本欄の読者には言ったことがあるこの話題。観光振興を県経済の柱に掲げている以上、観光の顔である道路維持管理費は逆に年々増額すべきだと繰り返し声を上げたい。道路の修繕費とは別に除草、剪定に多くの予算配分をお願いしたい。▼島の魅力は海浜を中心とする自然景観。道路は観光地への期待を膨らませる。玉取崎展望台に至るには国道で、川平湾をめぐるには県道を通ることになる。その道路が草ぼうぼうでボイ捨てごみが目立つ。ましてや雑草の生育が早い亜熱帯にあって年2回の除草は少ない。できたら毎月、最低でも2月に1回は必須だと思う。▼試しに一周道路を通年管理の事業として行ってみたら、通年管理なので業者は他にたくさん感じた。即作業に入る。他ができないうちに刈り取る（摘確）と効率的減が見込める。冬場は草木も成長速度、息抜きの勝力もしてくれる。

（仲間清隆）

2016年10月9日

不道統線

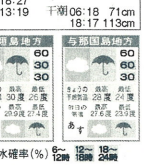
●編集局のメールアドレス　press@y-mainichi.co.jp

きょう あすの天気

（石垣島地方気象台8日17時発表）

【概況】八重山諸島は、低気圧や東シナ海を南下する前線の影響により曇りの所が多く、所により雨を伴う。

【予報】海域では、波が高まる見込み。



旧9月9日・小潮・月齢8.1

きょうの潮	石垣	与那国	潮位
日出	06:38	06:43	満潮 13:36 128cm
日入	18:22	18:27	
月出	13:14	13:19	干潮 06:18 71cm
月入			18:17 113cm

八重山の週間天気

		石垣島地方 し	与那国島地方 し
11日(火)		60	60
12日(水)		60	60
13日(木)		30	30
14日(金)		30	30
15日(土)		30	30

		石垣島地方	与那国島地方
きょう	予想気温	30度 25度	28度 24度
	予想波高	2.0m 2.0m	2.0m 2.0m
あす	予想気温	28度 24度	27.6度 23.9度
	予想波高	2.0m 2.0m	2.0m 2.0m

降水確率(%)　6~12時　12~18時　18~24時

		風向	風速(m)	波高(m)
きょう	石垣	南→北東	9	2→3
	与那国	南→北東	8	2→3
あす	石垣	北東	8	3→2
	与那国	北東	8	3→2

やっぴい
紙面掲載写真は電話注文できます。
☎0980(82)2121

イエ ウテイ
自分ん家 今いくら?
☎82-9971
マイホーム無料査定 八重山毎日サービス局

「感謝の夕べ」
2016年10月28日（金）
◆開場 18:30　◆開演 19:00～
◆ボールルーム真栄里（タワーウィング1階）
◆限定前売チケット¥10,000（税サ込）
◆立食ブッフェスタイル
陳親子による本場四川料理とホテル特製和洋ブッフェ
ご希望によりチケットの配達を承っております。
お問合せ 10:00～19:00
Tel:（0980）88-7206〈専用窓口〉
ライブキッチン 生演奏 お楽しみ抽選会も
ANAインターコンチネンタル石垣リゾート プレゼンツ
中華の重鎮、陳 建一＆建太郎親子による四川料理の饗宴

四川飯店 SZECHWAN RESTAURANT
ANA INTERCONTINENTAL ISHIGAKI RESORT